

総評

ひがし商店街から、五分ほどのところに住んでいる。昭和の面影を残す店と、若い店が多世代同居のようにぎゅっとくっついたこの通りは、伊丹のふるさとのエリア。おなじみさんも、はじめての人も、くつろいだ雰囲気を迎えてくれる。さて、そこで見つけた「うれしい・楽しい・おいしい」をつぶやいていただく「五・七・五大賞」。なんと全国から、1、866句もの応募をいただきました。

審査においては、ひがし商店街ならではの情景が立ち上がってくる句。商店街の空気感じられる句を選ばせていただきました。

大賞 今宵また酒発祥の地で飲める

奥ゆかしい伊丹市民はあまり自慢しませんが、伊丹は清酒発祥の地。江戸時代にこの地で生まれたお酒が、どれほど人の世を豊かにしてくれました。誇らしいではありませんか！

優秀賞 純白のそば初恋のはずかしさ

蕎麦から初恋の連想にまず驚かされた。けれど「月山そば」のあの蕎麦の白さは、なるほど初恋を思い返す気恥ずかしさに通じる。お店に足を運んで、是非たしかめていただきたい。

優秀賞 コクリコはいつも私の停留所

なんとなく立ち寄るのではなく、そこに行くために降り立つ停留所。「コクリコ洋品店」は作者にとって、足を運ばずにはおれない、ひなげし(コクリコ)畑のような存在なのだろう。

優秀賞 細長い青空見上げ歌が出る

商店街から空を仰ぐと、細長い空を背景に五線譜のように電線が走っている。音符は鳥だろうか？星だろうか？あの通りは、歌の通り道でもあったのだ。

選を通して、この町とご縁をあらためてうれしく思いました。ありがとうございました。

八上 桐子

ひがし商店街

五七五大賞

選句集

投句総数

1,866句

募集期間：2012年9月4日(火)
～10月24日(水)

表彰式：2012年11月10日(土)

選者：
八上桐子

(川柳人・神戸新聞川柳壇選者)
五七五大賞実行委員会

瓦版

ひがし商店街で見つけた、
うれしい・楽しい・おいしいを
五・七・五でつぶやいてもらいました。